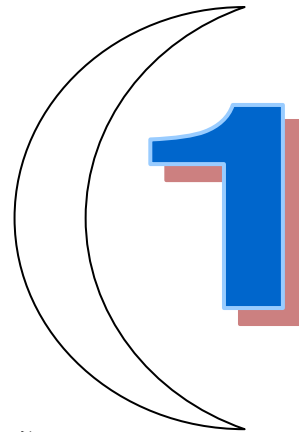


画像の挿入（その1）

1. 文章に画像を挿入しましょう。

- 1-1. 文章として何か文字を入れます。
- 1-2. 任意の場所に、画像を挿入しなさい。



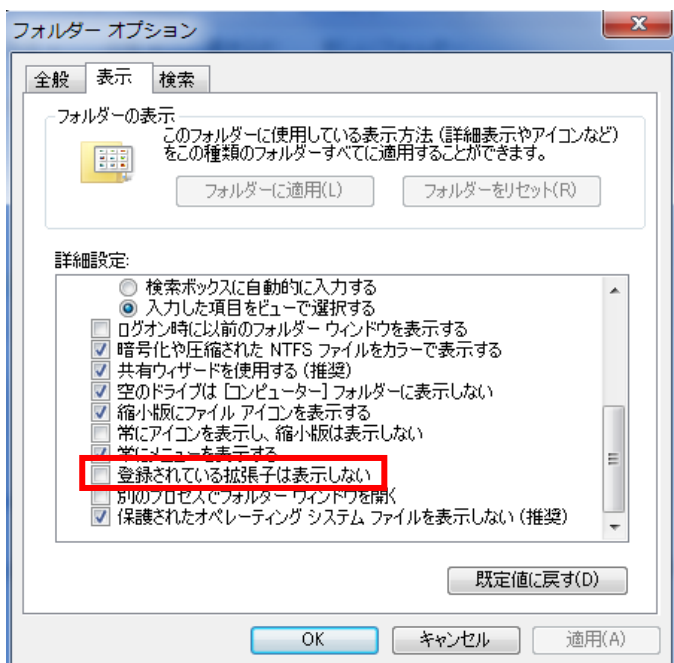
画像の種類・・・デジカメ画像、クリップアート、インターネットからの画像・・・

画像の拡張子の種類・・・JPEG形式(**. jpg : Joint Photographic Experts Group)、PNG形式(**. png : Portable Network Graphics)、ビットマップ形式(**. bmp)、GIF形式(**. gif : Graphics Interchange Format)、TIFF形式(**. tif : Tagged Image File Format など)、・・・

文章の外に画像・・・上に挿入、下に挿入、右に挿入、左に挿入

文章の中に画像・・・行間に画像、四角く矩形に囲むように、形状を忠実に囲むように、背面に、前面に。

拡張子 (**. jpg など) を表示させる方法・・・[ドキュメント (Windows XP までは。MyDocuments)] → [ツール] → [フォルダ オプション] → [フォルダ オプション] ダイアログボックスで、[表示] タブ → スクロールお一番下にする → [登録されている拡張子は表示しない] にチェックが付いている時は、拡張子が表示されない。これを off にする。



文書に画像を挿入する・・・[挿入] コマンドによる画像の挿入・・・[挿入] タブ → [図] グループ → [図] (写真など保存されている場所から持ってくる。) あるいは、[図形]

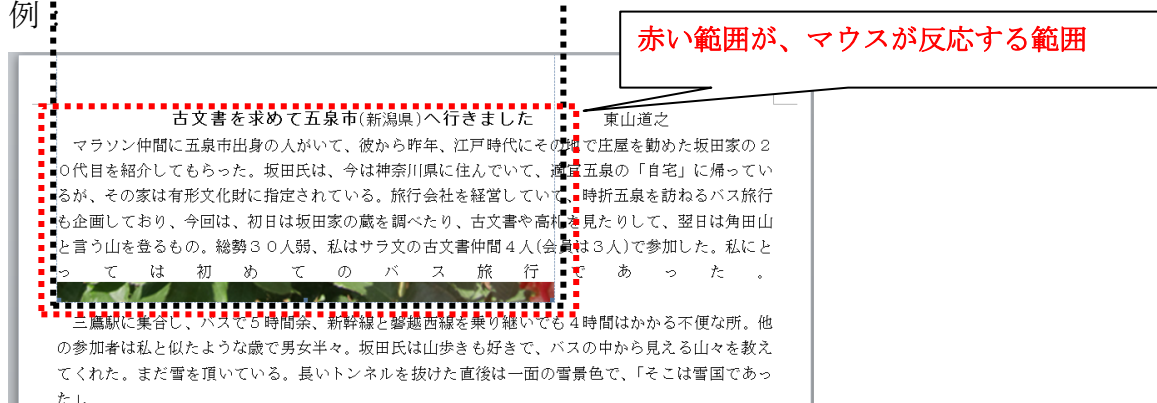
(これから手書きする場合など)、[グラフ] や [SmartArt] (その他、表なども挿入コマンドで作成できる。)

[挿入]コマンドによらない画像の挿入・・・インターネットなどから直接・・・図の上を右クリック→[コピー]コマンドがあればコピーは可能。そのまま文書に貼り付ける。



挿入した画像を移動・・・画像は「文字列」として扱われ、文の中に挿入され、動かさない。場合により、画像の上が消えて、1行だけの画像となってしまいうこともある。

例



挿入した画像の最下段しか見えていない。点線の画像が文章の下に隠れている。マウスが反応する範囲(画像の上)で右クリック。→[図の書式設定]→[図の書式設定]ダイアログボックスが表示される→[レイアウト]タブ→[折り返しの種類と配置]が「行内」となっていることを確認。

(画像が文字列として扱われ、行内として扱われたため、1行分の画像となってしまったのである)→「四角」「外周」「前面」のいずれかを選ぶ。[OK]ボタンをクリック。

四角と外周・・・文面が画像を囲むように配置される。画像が四角であれば同じ効果。

画像が、四角以外の場合は、「四角」で上下左右が最大の四角形が確保される。「外周」では、画像を囲むように画像が配置される。

「前面」・・・画像が、文章とは独立して、文章の上に配置される。下側の文章が見えなくなる。文章に余白がある場合などに多用される。



「四角」、「外周」を選んだ場合。



「前面」を選んだ場合。文章が隠れてしまう。

いずれの場合もハンドル（上下左右の8か所に拡大・縮小するための操作ハンドル）が付くので、拡大・縮小を行うことができる。また回転ハンドルもつくのでそれを選択し、ドラッグすると画面が回転する。

「外周」を選んだ場合は、下図のように、四角くても、中に文章が入り込んでくれる。



パソコン豆知識

1. パソコンの操作で頻繁に使う操作（前に戻る、コピーする、切り取る、貼り付ける、前に戻した操作を次に進める）

【Ctrl+Z】・・・説明・・・「Ctrl」キーと「Z」キーを同時に押す・・・一つ前の動作をやり直します。通常30回くらい前まで遡れますので、失敗してもやり直しがきく“人生”をお楽しみ下さい。ただし、「保存」の前の状態には戻れません。メモ帳の場合は1回だけしか戻れません。blog更新中の訂正も1回前の動作までしか戻れません。

“Z”の文字は、“ 出戻り” を象徴する文字の形をしています。

【Ctrl+X】・・・説明・・・「Ctrl」キーと「X」キーを同時に押す・・・選択した部分を「切り取ります」。

“X”は「はさみ」の意味を表しています。

【Ctrl+C】・・・説明・・・「Ctrl」キーと「C」キーを同時に押す・・・選択した部分を「コピー」します。

“C”は「Copy」の意味を表しています。

【Ctrl+V】・・・説明・・・「Ctrl」キーと「V」キーを同時に押す・・・切り取った内容（上記Ctrl+X）やコピーした内容（上記Ctrl+C）を、カーソルを立てた箇所に、貼り付けます。

“V”は「past」の意味を表しています。西洋では壁を塗るパテの形を文字でイメージしています。ついでに、

【Ctrl+Y】・・・説明・・・「Ctrl」キーと「Y」キーを同時に押す・・・戻った動作を先に進める。。。“Y”は「先に進む」の意味を表しています。“Y”の文字が二つ分かれている形を、先に進むという象徴に使っています。

2. 虫眼鏡

Windows キーと「+」（shift キーは使わない）で拡大鏡が現れマウスの部分が矩形の虫眼鏡で拡大される。終了はWindows キーと Esc キーで。

3. 画面全体の拡大表示

Ctrl キーを押さえたままマウスのホイールを回転させる。上のほうに回転させると有効になっているウィンドウが大きくなる。手前にまわすと縮小される。（アプリによっては使えない場合もある。）

今日は以上です。何か質問がありましたらどうぞ。

太田 宏の携帯 090-2145-5223 か、自宅メール ota-h@jcom.home.ne.jp に質問ください。